

多文化共生事業事例集

年度

30

団体名	(公財) かながわ国際交流財団	助成金名: 多文化共生のまちづくり促進事業	ジャンル
		事業費総額 2,207 千円	医療・保健・福祉

事業名	外国人住民子育て支援のためのガイドブック制作・普及および地域啓発事業
-----	------------------------------------

特徴	母子保健・子育て支援従事者向けに外国人住民の子育てを支援する実践事例を織り交ぜながら、イラストレポート（イラストと文字を融合した説明書）の手法を取り入れたガイドブックを作成し、支援態勢のボトムアップを行う。
----	---

事業のポイント

◇イラストレポート（イラストと文字を融合した説明書）の手法を取り入れ、これまでに神奈川県内において実施した子育てに関する実践事例を活かし、ガイドブックを発行した。そしてその普及を通じて、県内の支援態勢のボトムアップを開始した。

事業の背景・目的

◇日本で生まれる外国につながる子どもの数は年々増加している。また、日本における妊娠期・子育て期の制度や手続きは複雑で分かりにくい。2015年度に当財団が実施した子育てに関する調査では、次の3つの点に課題があることが明らかになっていた。①子育て支援関係者への啓発、②支援現場での言語的コミュニケーション、③外国人住民の情報や資源へのアクセス
これらを踏まえて、支援に活用できるガイドブックを作成することとした。

事業の概要

『外国人住民の妊娠から子育てを支えるガイドブック 母子保健・子育て支援でできる多文化共生の4つのカギ』（B5サイズ・40ページ・カラー）を6,000部制作した。

◇内容

はじめに	①あなたのまちに子育て中の外国人住民が増えていますか？ ②外国人住民対応の理想と現実 ③支援を妨げる4つの要因
産婦人科	①産婦人科で困っていることはなに？ ②産婦人科への4つのカギ こんな工夫ができるかも！ ③こんな取り組みやっています！病院で外国人妊婦教室
母子保健	①母子保健担当が困っていることはなに？ ②母子保健の保険師さんへの4つのカギ こんな工夫ができるかも！ ③ベテラン保健師カワイさんの多文化対応6つのコツ！ ④こんな取り組みやっています！「栄養&健康」ワークショップ
小児科	①小児科で困っていることはなに？ ②小児科への4つのカギ こんな工夫ができるかも！ ③こんな取り組みやっています！「お医者さんかかり方セミナー」
地域	①地域の方々の働きかけ～ベストミックスが大切！～ ②こんな取り組みやっています！外国人にアウトリーチ
まとめ	①4つのカギを上手に使おう！ ②役立つツール紹介 ③外国人住民のための子育てチャート



綾瀬市役所でのイスラムママ向け栄養・健康ワークショップ

事業実施における工夫点・事業の成果等

次の点を工夫してガイドブックの制作を行った。

1. 外国人対応を初めて行う支援者が取り組みやすいよう、イラストレポート（イラストと文字を融合した説明書）の手法を取り入れ、全国の母子保健関係者がすぐにでも行動を始めるきっかけになるようにする。
 2. 当財団が県内市町村で実施した実践事例を分かりやすく伝え、読者が具体的な活動を始めるきっかけを作ることができるようにする。
 3. 実践事例に参加してくれた外国人母子が持つ当事者としての視点を活かす。
 4. 当財団がこれまでに作成した支援ツールの活用例を紹介し利用の促進を働きかける。
- 全国の母子保健・子育て支援の従事者の手に届くよう、母子保健事業団の協力を得て 6,000 部を印刷し、県内の母子保健・子育て支援関係者のほか、全国基礎自治体や全国の国際交流協会にも一部ずつ配布した。

また、興味を持った人・機関があった場合に入手ができるよう、母子保健事業団からガイドブックを注文できるようにした。

様々なつながりを作りながら作成した本ガイドブックのさらなる周知も目的として2019年8月24日に開催した「子育て支援フォーラム」は120名を超える参加者が得られ、今後外国人子育てを支えるにはどのようなネットワークが作れるかを探るなど、充実した内容となった。



外国人住民子育て支援フォーラム

今後の課題・将来に向けての展望等

外国人住民の中で出産・子育て世代の割合はさらに増えていくと予測される。今回作成したガイドブックの活用を通じて国・市区町村や医師会などに働きかけていきたい。我々のような地域国際化協会が母子保健・子育て支援の関係機関と連携することにより、外国人住民がより安心して出産・子育てができるように社会環境を整えていけると考える。

2019年度、当財団ではこのガイドブックの配布に合わせて、モデル事業を協働できる自治体、医療機関等を公募し、母子保健・子育て支援を通して他業種連携を行っている。このガイドブックで掲載されたものだけでなく、さらに多くの事例を実施することにより、全国で外国人住民支援のモデル事例を蓄積し、外国人住民への母子保健・子育て支援がより一層充実するように活動していきたい。

また、医療・母子保健・子育て支援といった分野で多文化に対応する能力が高い人材を育成することも必要だと考えている。当財団がそういった分野の人材育成の場に関わっていけるよう努力を継続したい。



横浜市神奈川区・西区子育て支援拠点による
ネパール人ママ向けアウトリーチ

事業担当者のふりかえり

- ⇒ 自治体や病院など様々な機関と連携しながら外国人住民子育て支援のモデル事業を実施し、それらをガイドブックに掲載することによってより多くの支援者に届けることができた。
- ⇒ 今後、全国でますます増えてくる外国人の子育て世代をサポートすることに関して、支援の第一歩を手助けするツールになればと思う。